情報学専攻入学者選抜試験

情報社会デザイン
問題冊子

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

2. 問題冊子は、表紙を含めて全部で 6 ページあります。試験開始後に問題冊子のページ数を確認して、落丁又は印刷が不鮮明な場合は直ちに申し出てください。

3. 解答は解答用紙に記入してください。問題冊子に記入しても採点されません。

4. 問題冊子、解答冊子は切り離さずにすべて提出してください。

社会システム基礎

（問１）以下の用語から、4 つを選んで、その意味や内容を簡単に説明しなさい。

a. ポスト・フォーディズム
b. ポピュリズム
c. ジェンダー
d. 公共圏
e. 外部不経済
f. クリエイティブ・コモンズ
g. 集団分極化
h. アルゴリズム・バイアス

（問２）情報技術や医療技術、ゲノム編集などの発達は、サイボーグやロボット、集合知や AI、人工臓器や遺伝子治療、産み分けやデザイナーズ・ベイビーなどを、現実社会にもたらし始めている。これらの先端技術は人間存在や人間社会のあり方を大きく変えつつあり、今後さらに変えていくと考えられる。こうした状況に対して、どのような社会的課題があり、どのような社会的対応が必要だろうか。具体的な例を挙げつつ、自分の考えを示せ。

コミュニティ

（問１）情報社会においては市民も IT 機器を有意義に利用できることが求められる。例えば、現代では多くの自治体が災害に備えて作成した防災マップをウェブ上で公開しており、閲覧者が操作できるウェブ上の地理情報システム（WebGIS）の運用なども進められている。次のページにある図１は静岡県が提供している「静岡県 GIS」の操作画面であり、地形図と推定津波浸水域を表示させている。

（１）防災などの分野では空間的視点から地域の安全性やまちづくりを検討することが重要になる。図１を参考に、災害が生じやすい地域の特徴を述べた上で、災害に関する情報をまちづくりに役立てる方法について説明しなさい。

（２）防災などの社会的課題を分析するにあたり、どのようなデータ追加や空間分析、現地調査を行うことが効果的であるか説明しなさい。

（３）スマートフォンなどが普及している一方、それら IT 機器を使いこなせない市民との情報格差が広がることが考えられる。特に防災・医療・福祉など生命に関わる分野での課題は大きいが、どのような対策が有効であるか具体例を挙げて説明しなさい。

削除：「静岡県 GIS」によって作成された浜松市南部地域の地形図と推定津波浸水域

図１　静岡県 GIS

（出典：静岡県「静岡県 GIS」https://www.gis.pref.shizuoka.jp/（最終閲覧日：2019 年 4 月 1 日））

メディア

（問１）次の語句を用い、現代のメディア状況を解説する文章を作成しなさい。

- 情報富層(インフォメーション・リッチ)
- エコーチェンバー
- 炎上